

整体という仕事を通して、挑戦を続けたい

私の生まれ故郷である白滝地区で平成28年3月に療術院を開業しました。白滝地区は、人口も少なく、開業をするには少し不向きな条件でしたが、それを上回るだけの自然の豊かさや、人が癒され、リラックスできる環境があることから、ここで開業することを決めました。

私は、四国中央市の医療専門学校で理学療法士の資格を取得した後、故郷に戻り、地元の病院で勤務していました。これまで常に意識してきたのは、「お客様にどれだけ親身になって寄り添えるか、共に在れるか^あ」ということです。老若男女を問わず、お客様の状態が、施術によって少しずつ良くなり、改善に向かっているとき、仕事での喜びを感じます。

現在、愛媛県理学療法士会スポーツ支援部に所属しており、これまでに愛媛マラソンや朝霧湖マラソンでの救護所運営や、ランナー向けの講演などで競技者や指導者のサポートに携わってきました。令和7年10月に第48回中四国学生陸上選手権大会10種競技で優勝（26年ぶりに愛媛県記録更新）した上野龍羽選手（松山大・大洲市出身）に大会中のトレーナーとして帯同するなど、アスリートとの関わりも深めています。また、長浜町商工会青年部の一員として、ながはま赤橋夏まつりなどのイベント活動で共に汗を流したり、白滝フロンティア会の地域おこし活動で、みなさんの笑顔に元気づけられたりしています。

近い将来、産業理学療法士の資格を取得し、働く人たちの健康維持や労働災害の予防、職場環境の改善のために企業で働くなど、目標に向かって努力を重ねていくつもりです。これからも、整体という仕事を通して、より多くの人たちが健康で生き生きと生活を送ることができるよう、お手伝いしていきたいと思います。

未来を拓く

～次代へつなぐ～



白滝療術院

理学療法士 **福原 政成** さん

仕事柄、自らも運動を心掛け、病院勤務時代に始めたバドミントンは大洲市大会で優勝するほどの腕前。趣味の釣りも楽しみたいが、「今は、3人の子育ての真っ最中」と語る37歳。

大洲の風景



花々と大洲城 6月30日(火)撮影

今月の表紙



5月31日(日)に開催された肱川かわびらきでSUP体験をしていたグループの笑顔をパシャリ。

みなさんも特集ページを参考に、カヌーやSUPの体験をしてみませんか？きっと新しい景色が見えるはずです。